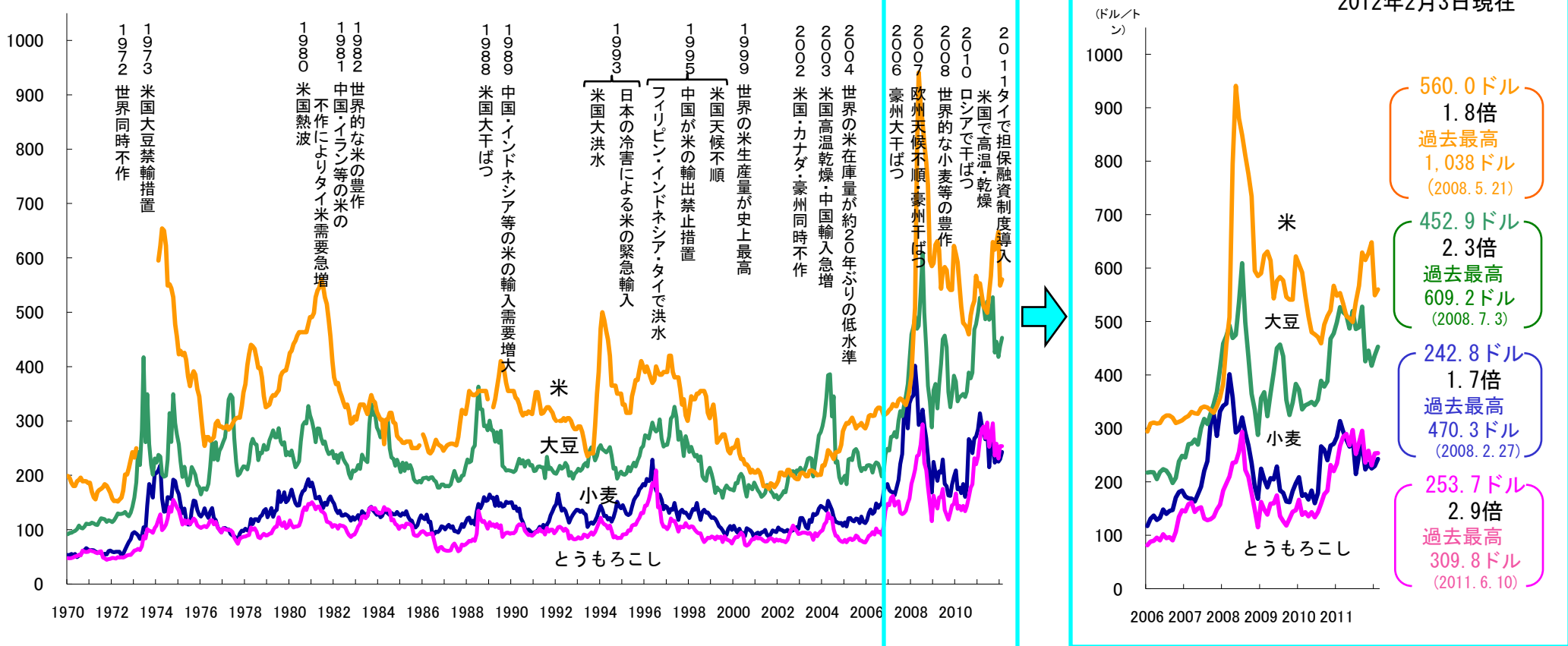


穀物等の国際価格の動向 (ドル/トン)

- 穀物等の国際価格は、2010年7月以降再び上昇し、現在は、2006年秋頃に比べ1.7～2.9倍の水準。
- 2010年夏以降、ロシアの穀物輸出禁止措置、バイオ燃料向け需要の増大等による穀物等の需給の引き締めから上昇し、とうもろこしは、2011年6月10日に309.8ドル/トンと史上最高値を更新。その後も、米国産地での高温乾燥による単収減が懸念され高値で推移。9月以降、世界経済の減速懸念等を背景に旧ソ連地域産等との競合により下降。
- 米は、2011年6月以降、タイで担保融資制度（実質的な国の買上げ制度）の再導入等により上昇したものの、安価なインド産米等へ需要がシフトしたこと等から低下。

□ 穀物等の国際価格の動向

ドル/トン



注：小麦、とうもろこし、大豆は、各月ともシカゴ商品取引所の第1金曜日の期近価格である。
 米は、タイ国家貿易取引委員会公表による各月第1水曜日のタイうるち精米100%2等のFOB価格である。

- 注1：各月第1金曜日(米は第1水曜日)に加え、直近の最終金曜日(米は最終水曜日の価格)を記載。1月第1水曜日の米価格は、12月28日(水)の価格。1月直近水曜日の価格は25日(水)のデータが未公表のため18日(水)の価格。
- 注2：過去最高価格については、米はタイ国家貿易取引委員会の公表する価格の最高価格、米以外はシカゴ商品取引所の全ての取引日における最高価格。
- 注3：図中の倍率は2006年秋頃と比較した直近の価格水準。

